ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

【番号・テーマ】16．地域社会と世界

【単元名】フランス人旅行者と交流しよう

【基本情報】

　　授業時間・形態：100分（２コマ×50分），週１回２コマ続き

　　学習歴：初習１年目

　　クラスサイズ：

（　）10名以下　　　（○）10〜20名　　　（　）20〜30名　　　（　）30名以上

　　レベル：

（○）A1.1 （○）A1 （○）A2 （　）B1

【授業の位置づけ】第二外国語、選択

【単元の目標】

　　・自己紹介ができる。

　　・自己紹介で述べたことについて、相手にも質問ができる。

　　・質問に対する答えを聞き取ることができる。

　　・地域について紹介ができる。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

【具体的な学習事項】

［単元に該当する指標形式の目標］

|  |  |
| --- | --- |
| やりとり | ・観光客を前にして自己紹介ができる  ・観光客に日本について質問ができる。  ・地域（十三）について必要な語彙を使い、表現し、説明できる。 |

【具体的な評価規準】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・être, avoir を用いての自己紹介の表現を理解し、適切に使える。  ・相手の自己紹介を聞き取れる。  ・質問の表現を理解し、適切に使える。  ・街の紹介に必要な単語を理解し、適切に使える。 | ・自己紹介を口頭で表現でき、書くこともできる。  ・Comment, Qu’est-ce que, Est-ce que, Où, Combien de, Quelの質問の表現を適切に用いて、口頭で表現でき、書くこともできる。  ・街の紹介について考え、話し合うことができる。 | ・間違うことを恐れずに話すことができる。  ・相手の話していることに耳を傾けることができる。  ・グループワークにおいて、互いに協力しながら、タスクに取り組むことができる。  ・日本の紹介したい街（地域）の発見を通して、フランスの地域社会やその特徴を見つけることができる。 |

［目標とする言語項目と社会文化項目］

言語項目

街にかかわる語彙：la ville, le quartier, le train, la gare, le fleuve , le quai, l’hôtel, le feu d’artifice, la galerie marchande, le magasin, un grand bazar , la pâtisserie, le bistro, le restaurant, la supérette, le château, la tour

自己紹介にかかわる表現：Je m'appelle... Je suis... , étudiant, lycéen(ne)

国籍：français, japonais, etc.

疑問詞：où, qu’est-ce que, quel, comment, combien de

副詞（同意）：moi aussi

提示・説明の表現：C’est ～の表現、Il y a ～の表現、Voici ～の表現

想定される既習文法事項

主語人称代名詞、動詞（être, avoir, -er）、定・不定冠詞、疑問文、否定文、数字（1から59）、序数、

avoirを用いた慣用表現（身体の調子，年齢）

社会文化項目

フランスのパリ以外の都市名と位置を理解する。フランス人の名前を知る。相手がどのような日本料理が好きか、日本のどの街を訪れたいかなどを知り、日本文化について考える

【授業資料】

［第１次］ワークシート（自己紹介文、相手への質問文、街の紹介文）、シナリオ用紙（白紙）、

［第２次］ルーブリックシート（グループ評価用）、ルーブリックシート（個人評価用）

【授業の過程】

［第１次］

　展開：

　1．席の移動、ワークシートを配布、既習事項の振り返り：グループ活動準備

　2．自己紹介、質問、街の紹介を完成させる：グループ活動

　3．会話のロールプレイ、紹介にシナリオ作り：グループ活動準備

　4．評価基準をもとに、プレゼン：グループ活動

　5．ルーブリックをもとに評価

　6．まとめ・振り返り

［第２次］

　展開：

　1．評価基準をもとに、プレゼン：グループ活動

　2．評価活動

　3．改善点の話し合い：グループ活動準備

　4．まとめ：改善したものをプレゼン

第１次

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 生徒の学習活動 | 教師の活動及び指導支援 | 評価の観点・評価基準 |
| 導入  3分 | 【あいさつ】 | あいさつ  出欠確認  フランス人旅行者と交流することを想定にして、動画撮影ならびにルーブリック評価することを伝える。 |  |
| 展開①  12分 | 【グループ活動準備】  グループの形に席を移動  教師の問いにフランス語で返答する。  ワークシートを完成させる。  【グループ活動】  自己紹介、質問、街の紹介を黒板に書く。  準備してきた絵を磁石で貼る（資料２）。  教師に続いてコーラスする。 | グループに１枚ワークシートを配布。  「自己紹介でどんなことが言えるかな？」「フランス人旅行客にどんな質問が出来るかな？」「十三の紹介が出来るかな？」と言いながら、既習項目を振り返ると同時に、生徒からのフランス語での発言を促す。  グループを当て、黒板に書かせる。絵も利用するように促す。  黒板に書かれたものを発音する。 | 既習事項が定着しているかどうか。  積極的に発することが出来ているか。 |
| 展開②  15分 | 【グループ活動】  自己紹介・質問・十三の紹介の３つをすべてセリフとして必ず使い、グループの中で、フランス人旅行客と日本人の役割を演じる。旅行客の回答も用意する。  グループで１つの3分～５分のシナリオ（紹介の流れ）としてまとめる。  グループ内で発表の練習をする。 | 黒板で確認したように、各グループで用意した内容をシナリオ（紹介の流れ）になるよう指示する。またグループ内で日本人と旅行客の役割を決めて演じるよう指示する。旅行役の回答は自由に想定させる。  相手に何かを紹介する場合の方法について検討させ、次の表現を理解させ、加えるよう促す（未習事項は意味を伝える程度）。  Je vous présente le quartier Jûsô.  また、グループになった場合、「私も○○に住んでいます」や「私達は○○です」のようなバリエーションを工夫するよう促す。  グループに１個タイマーを配布。  ４グループ（{４人×３}＋５人）を机間巡視。 | 正確に文を綴ることができているか。  正確に発音できているか。  発表の流れを協働的に話し合っているか、相手を想定してシナリオを考えられているか。 |
| 展開③  3分  14分 | 【グループ活動】  ルーブリックの評価基準を確認する。  撮影と発表と評価。  発表は３～５分  グループ①  グループ②  【評価活動】  発表者の評価は評価ルーブリックを使って行う。 | 「評価ルーブリック・グループ」を配布する。発表グループに対し、聞き手のグループごとに評価をするよう指示する。  （発表の撮影）  評価ルーブリック・グループの回収 | ルーブリックに基づいて評価する。 |
| まとめと振り返り  3分 | 【まとめ・振り返り】 | 次の時間にも引き続きグループ③④が発表することを伝える。 |  |

第２次

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 生徒の学習活動 | 教師の活動及び指導支援 | 評価の観点・評価基準 |
| 導入  2分 | 発表ならびに評価の準備 | 発表の準備をするように指示する。 |  |
| 展開①  14分 | 【グループ活動】  撮影と発表と評価  発表は３～５分  グループ③  グループ④ | 「評価ルーブリック・グループ」の回収 | ルーブリックに基づいて評価する。 |
| 展開②  6分 | 【評価活動】  自分たちの動画を見ながら自己評価を行う。 | 「評価ルーブリック・わたし」の配布。  機器取り扱いのサポートをする。 |  |
| 展開③  5分 | 【グループ活動】  他グループからの自分たちのグループに対する評価ルーブリックと、自己評価ルーブリックを使って振り返りを行い、グループで改善点を話し合い３つ以上見つけ、ノートにメモをする。 | 「評価ルーブリック・グループ」の返却。  声の大きさ、発表の態度、シナリオとしての流れ等、他グループの指摘も考慮して留意するよう、声をかける。 |  |
| 展開④  まとめ  23分 | 【まとめ】  改善したプレゼンテーションの再試行。全グループ４グループが発表する。 | （発表の撮影）  発表終了後、1回目の発表と比べて2回目を実践した感想を数人に当てて言わせる。  振り返ることで、気が付くこと、改善される点があること等、まとめのコメントをする。  シナリオの回収  ルーブリックの回収 |  |